

第159回運輸政策コロキウム ～ワシントン・レポートXIX～ 米国の都市鉄道に迫る“財政の崖”の現状とその解決に向けた対応

日 時：2024年3月29日(金)10:00～12:00
会 場：運輸総合研究所2階会議室 及び オンライン配信(Zoomウェビナー)
参 加 費：無料

プログラム

1 発表およびコメント

発 表 者：岡部 朗人 ワシントン国際問題研究所 研究員
コメンテーター：加藤 浩徳 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授

2 ディスカッション

コーディネーター：屋井 鉄雄 運輸総合研究所 所長
参 加 者：発表者およびコメンテーター

登壇者のご紹介

発表者：岡部 朗人
ワシントン国際問題研究所 研究員



2012年4月 東京地下鉄株式会社に入社。財務部門にて、予算の策定・管理業務や税務業務に従事。その後、2018年7月より経営管理部門にて、中期経営計画策定やパンデミックからの回復に向けた計画策定等、経営戦略業務に従事。2021年5月よりワシントン国際問題研究所に赴任し、北米を中心とした都市交通・地域交通分野における政策や最新動向について調査を実施。2022年4月には、「米国の都市鉄道を取り巻く環境変化とコロナ禍からの回復戦略」というテーマで運輸政策コロキウムを開催。

コメンテーター：加藤 浩徳
東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授

1993年 東京大学工学部土木工学科卒業
1995年 東京大学大学院工学研究科土木工学専攻修了
東京大学大学院工学系研究科助手
1998年 財団法人運輸政策研究機構調査役
1999年 博士(工学)授与[東京大学]
2000年 東京大学大学院工学系研究科専任講師
2004年 同助教授
2013年 同教授
2016年 日越大学社会基盤プログラム共同主幹を兼務。現在に至る。



研究分野は交通計画、交通政策、交通経済学、交通経営で、最近は国際交通学、国際プロジェクト学に研究分野を展開。Outstanding Paper Award at the Emerald Literati Network Awards for Excellence, 日本交通学会賞, 米谷・佐佐木賞, アジア交通学会(EASTS) Best Paper Award等を受賞。交通政策審議会や政策評価審議会の専門・臨時委員をはじめ, 多数の委員会委員を務める。国際関連機関の業務にも多く携わる。国内外での講演多数。国際学術誌であるAsian Transport Studies誌の編集長なども務める。最近の著書に, "Developing Airport Systems in Asian Cities: Spatial Characteristics, Economic Effects, and Policy Implications" (Asian Development Bank, 2022)などがある。